

北京五輪・陸上女子20km競歩に出場し、日本人最高位となる14位でゴールした川崎真裕美さん（28歳・海老澤製作所・筑西ふるさと大使）に、レースの感想や今後の目標などについてお聞きしました。

自分の力を出しきれた 満足のレース

猛暑の中でのレースを想定していましたが、気温の高い埼玉県で合宿を張り、最終調整を続けてきました。でも、8月21日のレース本番は土砂降りの雨。気温も低く、想定外の展開でした。

「高速レースになる」と気持ちを切り替え、自分のペースを守ることに集中しました。レース中は自己ベストに近いタイムで周回をこなすことができました。ただ、先頭集団が予想以上にハイペースで世界との差を感じました。1位のカニスキナ選手には、3分もの

差をつけられてしまいましたから。

ゴールした瞬間は、多くの人に支えられながら「競歩」の道を歩んできた「自分の人生」に両手を広げて感謝していました。40位に終わったアテネ五輪の悔しさから4年間、本当に苦しい道の

りでした。順位は残念ですが、世界の大舞台で、目標だった1時間30分を切れたこと、アテネから大きく成長できたことにとても満足しています。そして、市民のみなさんの期待に応えることができて、とてもうれしく思います。

夢、次のステージへ

現在は、10月に大分県で開催される国体に向けて練習を続けています。4年後のロンドン大会のことをよく聞かれますが、まだ無心のままです。まずは、目の前の大会を一つ一つ確実にこなしていくことが目標です。

また、これからは指導者として、次の世代の人たちを育てたいという気持ちがあります。「競歩」という種目は、まだまだ知名度が低く、競技者人口も決して多いとは言えません。オリンピックや世界選手権などで培った自分の経験を生かして、世界に通用する選手を送り出したいと思っています。私のチャレンジはまだこれからです。

市民のみなさん
応援ありがとうございました
ございました

Yayumi
20km



激しい雨のなか行われた北京五輪・女子20km競歩。川崎選手は前回大会の40位を大きく上回る14位と大健闘。

北京五輪結果 ▶ 1位・カニスキナ選手（ロシア）1時間26分31秒（五輪新）▶ 2位・ブレッツェル選手（ノルウェー）1.27.07 ▶ 3位・リガウ選手（イタリア）1.27.12 ▶ 14位・川崎真裕美選手（海老澤製作所）1.29.43 ▶ 26位・小西祥子選手（大阪茗友クラブ）1.32.21

